

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年1月20日

事業所名 こばんはうすさくら大阪阿倍野教室

保護者等数(児童数) 26名 回収数 23枚 割合 88.5%

	チェック項目	はい			いいえ			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1		1		広々としている。	お子さんが十分に活動できる空間を確保しています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19			4		各職員の専門性が分からない。言語聴覚士など多職種の職員が関わると嬉しい。	保育士、臨床心理士、児童指導員、教員免許、理学療法士、作業療法士等の資格を持つ職員を固めて定めている基準以上で配置しています。言語聴覚士などの配置をめぐっています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	2		2			現在ご利用のお子さまに必要な設備は整備し、その日のスケジュールでスムーズに行動できるよう指示を工夫し構造化しています。今後一層の配慮を目指します。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22			1			お子さまに応じて、必要な設備のみを配置するようにしています。毎日の清掃により清潔な環境に努めています。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23						今後も一層、丁寧にお聞き取りしながら職員間で議論してチームで取り組めるように努めます。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23						今後も計画更新の際に、児童発達支援ガイドラインに沿った必要な支援の項目について提案し、保護者様にご理解頂けるよう丁寧な説明に努めます。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	1					一層支援計画に沿った支援ができるようチームで準備し、保護者様にはソラプロ等で支援計画に沿った報告を引き続き意識して実施していきます。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	1		3			個々のお子さまのニーズを踏まえ、各イベント、外食体験、公園等へのお出かけなどを実施していますが、一層工夫してまいります。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	7	7			近隣の幼稚園等間わりがもたらぬ機会を探し、できることから実施していきたいと思えます。個人情報についての配慮も同時に検討します。	
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1					契約締結時に説明させて頂いております。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23						計画更新の際に、直接説明をさせて頂いております。ご理解頂きありがとうございます。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13	1	3	6			保護者会で「家庭でできるABA」などの講座を開き、心理相談も継続して実施しています。今後も家族支援の取り組みを工夫してまいります。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	2					職員間の連携を強化し、引き続きLINEや電話、面談など様々な方法でお子さまの様子を共有出来ればと思っています。	
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	5	1			通所している際の様子、自宅での様子、困っていること等を聞きそれを基にプログラムに組み込んでいる。	ご要望に応じて個別面談、心理相談、また参観の保護者会を実施しています。支援計画更新の際も助言を心がけてまいります。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	3	4	3			保護者会を開催し研修会の後に交流の時間をゆったりととらせて頂きました。今後も保護者同士の連携を支援してまいります。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1	1	2			送迎時やお電話、LINEなど随時受け付けております。今後も迅速に対応できるよう努めます。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23						SNS、ソラプロ、全体及び個別のLINE、電話、送迎時等様々な場面で今後も伝達と意思疎通を図ってまいります。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	1		3			HPやSNSで定期的に情報発信しています。公式LINEでプログラム等の周知をし、自己評価の結果は、事業所内に掲示しHPにて公開しています。	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	22		1			LINEで写真が撮れる際にお子さんの顔がはっきり写っている。個人情報に関するコンプラの配慮が必要。	ご指摘ありがとうございます。①引き続き他のお子さまが写っている写真につきましては、決して他の方には公開しない様ご理解ご協力をお願いします。②今後、記念写真等に写るときも他の家庭に送る際は、スタンプなどの対応を希望される場合は、個別LINEでお知らせ下さい。職員間で共有し対応させて頂きます。	
	非常時の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	1		2			天候不良と地震発生時の対応は、公式LINEにて周知しております。また、各対応マニュアル等を玄関付近にて閲覧できるように用意しました。
		21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1		7			地震に伴う火災発生を想定した避難・通報・消火訓練を定期的に行っており、実施結果については、SNSにて周知させて頂いております。
	満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	23					帰宅した際に「今日楽しかった」等を教えてくれる。毎回、楽しかったと言っている。	ありがとうございます。今後も安心して楽しく通って頂けるよう職員一同お持ちしております。
23 事業所の支援に満足しているか		22	1				色々な取り組みをして下さり、とても満足。帰宅後にトイレット紙の量も少ないが、オムツがハンパンの時がある。	いつも支援内容にご理解頂きありがとうございます。引き続きお子さまの成長につながる支援を楽しく取り組んでまいります。オムツについては、定期的に確認してまいります。	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年1月20日

事業所名 しばんはうすくら大阪阿倍野教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切であるか	4	2	より手厚くお子さまを見ることができるよう、園が定める基準よりも多く人員配置しております。	引き続き増員を図ると共に、職員の役割や動きの連携を深めより質の高い療育の提供ができる様とめます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		危険と思われる箇所は角クッション等にてカバーしている。現在ご利用のお子さまに必要な設備は整備し、その日のスケジュールでスムーズに行動出来るよう掲示を工夫し構造化しております。	トイレなど車イスでは使えません。建物の構造上難しい部分がありますが、今後でもできる範囲でバリアフリー化の整備をしていきたいと思ひます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		その日に利用されるお子さまに合わせて設定しています。毎日の清掃。お子さんに合わせて物を撤去しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		話し合いの場を設け意見を出し合っています。	今後もよりよい療育を行えるよう、様々な業務の見直しを組織的に実施してまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		保護者様へ向けて、事業所評価に関するアンケートを実施しております。アンケート結果は所内で共有し、業務改善に繋げております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		皆様に見て頂けるよう、事業所内に掲示しております。ホームページでも公開しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		しばんはうすくらの本部に、3か月に1回以上訪問してもらい、業務改善のスーパーバイズを受けております。	今後も定期的にスーパーバイズを受ける機会を設け、業務改善に繋げていきたいと思ひます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		月に1回職員が講師を担って研修を行うことで、資質の向上に努めております。	外部研修や書籍購入等もより充実させて、今後も資質向上に努めます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		職員間でお子さまの状態を見立てた上で児童発達支援計画を作成しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		本部で作成されたアセスメントツールを活用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		児発管が行っています。	今後もニーズを踏まえ、より適切な項目の選択、具体的な支援の設定に努めます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		個々の個別ファイルの最初に支援計画を載せてすぐ確認できるようにし、意識して支援している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		毎月プログラム会議を実施し、職員全員で立案しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		プログラム会議では、プログラムが固定化されない様に、過去に実施したプログラムを振り返りながら、立案しております。	個々のお子さまのニーズを踏まえ、各イベント、外食体験、公園等へのお出かけなどを実施していますが、一層工夫してまいります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			今後も、小集団の中での子どもの個別療育を丁寧に取り組むべく、支援計画を作成してまいります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		支援開始前の打ち合わせは、事前と直前に行い、内容や役割分担について確認しています。様々な意見を取り入れて支援をしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		支援終了後は、片づけ等がある為、打ち合わせは必ずしも、出来ていないが、必要であれば翌日の朝礼で行っております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		ソラプロへの入力に加え、個別ファイルや日報等にも必要な情報を記録し全体化して共有しております。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				
その他	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		前もって組織的に様子を確認した上で、多角的な視点でお子さまの状況を見る立場である児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に参加しております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			必要があれば、各関係機関と連携していきたいと思っております。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2			現在は、医療的ケアが必要なお子さまをお預かりしておりませんが、必要があれば、適切な関係機関と連絡体制を整えていきたいと思っております。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1			現在は、医療的ケアが必要なお子さまをお預かりしていませんが、必要があれば、適切な関係医療機関と連絡体制を整えたいと考えております。		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			全てのお子さまの所属とはありませんが、支援内容等の情報共有と相互理解のための連携を取っております。		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	1			情報共有については、今後連携がとれるように働きかけていきたいと思っております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4				担当者(児発管)が連携を取り、対応しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3			交流することを望まない保護者もおられるため、慎重に検討したいと思っております。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1			協議会へ参加し、他事業所との連携を図っております。事業所内での共有を一層進めてまいります。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				ソラプロや個別LINE・送迎時にお伝えし共通理解に努めております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5				保護者会でABAの研修を開催し悩み等を交流しつつ、支援を行っております。また、心理相談でも対応しております。	今後は、療育場面の見学等を通じて保護者会の充実を図り、ペアレントトレーニング等の支援を積み重ねて参りたいと思っております。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				契約締結時に、説明させて頂いております。
		33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6				児発管が行っています。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				個別支援計画の更新の場や、保護者会で保護者様が抱える悩み等に助言させて頂く場を設けております。また、要望に対応して、心理相談や個別の面談を実施し必要な助言と支援を行っております。	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6				保護者会を開催し研修会の後に交流の時間をゆったりとらせて頂きました。	今後も保護者同士の連携を支援すべく頻度を増やしていきたいと思っております。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6				契約締結時に苦情窓口について説明させて頂いております。相談を頂いたら聞きし、それに対して必要があればその都度対応させて頂いております。	今後も迅速に対応すべく務めて参ります。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				ホームページやSNSで定期的に活動内容を情報発信しています。公式LINEでプログラムや必要な情報の発信に努めております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6				SNS等に掲載する際には、個人が特定されない様に、スタンプをつけるなどの対応をとっています。事業所内での管理も厳重にしています。	保護者に送る写真等について①他のお子さまが写っている写真については、決して他の方には公開しない様ご協力をお願いし②今後、記念写真等に写るときも他の家庭に送る際は、スタンプなどの対応を希望される場合は、個別LINEでお知らせ願ひ職員間で共有し対応いたします。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				それぞれの障がい特性に合わせて意思疎通を図っております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2			地域の夏祭りなどに協賛しています。	今後は、より地域に開かれた運営を検討したいと思います。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6				天候不良と地震発生時の対応は、公式LINEにて周知しております。また、各対応マニュアル等を玄関付近にて閲覧できるよう用意しました。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				災害を想定した避難訓練等は、定期的に実施しており、実施結果については、SNSにて周知に努めております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5				契約締結時に確認させて頂いております。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5				クッキング等の際には必要なアレルギーについての共通確認を図って実施しています。	今後も、職員間での共通理解に努めます。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				朝礼にて前日のヒヤリハットを共有し、毎月の職員会議の場で当月のヒヤリハット事例集を共有し、業務改善に努めております。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				虐待防止委員会を設置し、虐待防止の研修を行っております。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6				虐待防止委員会を確認し、職員間でも研修して共通理解を図っております。保護者様にも契約締結時に説明しております。		